

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立第三中学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

中学校第3学年，全生徒

実施生徒数（191人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中位層から下位層がやや多い。

平均正答率（本校 68.2／泉佐野市 71.2／大阪府 73.5／全国 75.6）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中位層から下位層がやや多い。

平均正答率（本校 55.3／泉佐野市 60.9／大阪府 63.3／全国 66.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話すことは概ねできている。</p> <p>5一 電話を受けた相手のことを考えた言葉で言葉を書く。 (85.6/93.1)</p> <p>○全体と部分との関係に注意して話を構成することは概ねできている。</p> <p>5二 伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する。 (83.4/88.7)</p> <p>○会話や文章における文脈の読み取りに課題がある。</p> <p>7一 相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして、適切なものを選択する。 (54.1/70.6)</p>	<p>【伝統的な言語文化・国語の特質に関すること】</p> <p>○日常生活に即している漢字は概ねできている。</p> <p>9一3 漢字を書く（家の庭に花を<u>ウ</u>える） (91.2/89.9)</p> <p>9二1 漢字を読む（封筒を<u>開</u>ける） (97.2/97.6)</p> <p>9二2 漢字を読む（長年の努力が<u>報</u>われた） (94.5/94.8)</p> <p>○日常生活に即していない漢字は課題がある。</p> <p>9二 漢字を書く（今までにない<u>ドクソウ</u>的な考えだ） (9.4/26.1)</p> <p>9二3 漢字を読む（目上の人を<u>敬</u>う） (65.7/82.6)</p>
<p>【読むこと】</p> <p>○文脈の中における語句の意味を理解することは概ねできている。</p> <p>3一 「ライスカレーの名に値する」の意味として適切なものを選択する。 (81.8/84.7)</p> <p>○登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することは概ねできている。</p> <p>3二 「私」にとってのカレーライスを説明したものとして適切なものを選択する。 (84.5/90.0)</p> <p>○奥付の特徴や役割を理解することは概ねできている。</p> <p>8一 奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する。 (80.1/86.1)</p>	<p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことは概ねできている。</p> <p>9三ア 適切な語句を選択する。（彼は、忙しい仕事の合間を<u>縫</u>って、私に会いに来てくれた） (83.4/91.0)</p> <p>9三イ 適切な語句を選択する。（厳しい挑戦だということは、<u>もちろん</u>分かっています。） (94.5/97.9)</p> <p>9三エ 適切な敬語を選択する。（私がプリントを集めて、先生に<u>お届け</u>します。） (89.0/94.3)</p>

<p>○文字の形や大きさ, 配列に注意して書くことに課題がある。</p> <p>9六 題名の下書きをどのように書き直したかを説明したものとして適切なものを選択する。 (36.6/37.6)</p>	<p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。</p> <p>9七1 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(追ひし) (59.7/80.2)</p> <p>○歌に表れた作者の思いを想像することは概ねできている。</p> <p>9七2 「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する。 (92.8/94.9)</p>
--	--

国語B	特 徴 が み ら れ た 設 問
<p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じて必要な情報を読み取ることは概ねできている。</p> <p>1二 関連イベントの「～職人の技を見てみよう～」に参加することができる日付として適切なものを選択する。 (77.0/83.3)</p>	<p>【書くこと・読むこと】</p> <p>○課題を決め, それに応じた情報の収集方法を考えることに課題がある。</p> <p>2三 宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと, それを調べるために必要な本の探し方を書く。 (33.9/49.2)</p> <p>○本や文章などから必要な情報を読み取り, 根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>3三 図鑑の説明を読むことで, よく分かるようになった物語の部分と, その部分についてどのようなことがわかったのかを書く。 (38.8/67.7)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか。	49.2	59.8	○	10.6
国語の勉強は大切だと思いますか。	78.5	89.1	○	10.6
国語の授業内容はよくわかりますか。	57.0	74.1	○	17.1
読書は好きですか。	52.3	69.9	○	17.6
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	35.1	62.2	○	27.1
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか。	33.0	56.7	○	23.7

分析した内容

○中学生として習得しておくべき漢字、語句の意味などの知識量が不足していることに課題がある。

○文章で表現しているニュアンスはある程度理解できているが、具体的に説明する能力に課題がある。

○自分の考えを効果的に表現することに課題がある。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中位層がやや多い。 平均正答率(本校 54.2/泉佐野市 57.4/大阪府 61.7/全国 62.2)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層及び中位層がやや少なく、下位層に少し偏っている。 平均正答率(本校 36.3/泉佐野市 38.2/大阪府 43.1/全国 44.1)

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○自然数の意味を理解することに課題がある。 1(2) -5, 0, 1, 2, 5, 4の中から自然数を全て選ぶ。(36.4/40.6)</p> <p>○正負の数の加法の計算は概ねできている。 1(3) $-3+(-7)$を計算する。(92.9/91.6)</p> <p>○数量関係を文字式に表すことに課題がある。 2(1) ある数を3でわると、商がaで余りが2になるとき、ある数をaで用いた式で表す。(21.7/32.2)</p> <p>○整式の加法と減法の計算は概ねできている。 2(2) $(2x+5y)+3(x-2y)$を計算する。(79.3/84.0)</p> <p>○一元一次方程式の解の意味を理解することに課題がある。 3(2) 一元一次方程式 $2x=x+3$の解について、正しい記述を選ぶ。(36.4/47.2)</p> <p>○2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すことは概ねできている。 3(4) 方程式 $2x+y=x-y=3$から、xとyの値を求めるための連立方程式を完成させる。(83.7/89.7)</p>	<p>【関数】</p> <p>○比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることは概ねできている。 9(1) 比例の表を完成させる。(81.5/87.9)</p> <p>○比例の式について、xの値の増加に伴うyの増加量を求めることに課題がある。 9(2) 比例 $y=2x$について、xの値が1から4まで増加したときのyの増加量を求める。(31.5/39.4)</p> <p>○具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解することに課題がある。 9(3) 反比例を表した事象を選ぶ。(38.0/42.0)</p> <p>○反比例のグラフ上の点の座標から、xとyの関係を式で表すことに課題がある。 9(4) 反比例のグラフから式を求める。(25.0/34.5)</p> <p>○一次関数のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求めることに課題がある。 10(3) 一次関数のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求める。(33.7/43.0)</p> <p>○測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解することに課題がある。 12(2) ある郵便物の重さについて、デジタルはかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ。(27.7/34.7)</p>
<p>【図形】</p> <p>○垂線の作図の方法について理解することに課題がある。 4(1) 与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ。(21.7/30.9)</p> <p>○空間における直線と直線との位置関係（辺と辺とがねじれの位置にあること）を理解することに課題がある。 5(1) 三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く。(52.2/75.5)</p>	<p>【資料の活用】</p> <p>○資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。 12(1) 読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める。(30.4/45.5)</p>

数学B	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○与えられた情報から必要な情報を適切に選択し処理することは概ねできている。</p> <p>1(1) 1試合の時間を16分とするとき、1回の休憩の時間を求める。(78.4/79.3)</p> <p>○与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することに課題がある。</p> <p>1(2) 葉月さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる。(24.3/33.4)</p> <p>【図形】</p> <p>○筋道を立てて考え、証明することに課題がある。</p> <p>4(1) 2つの辺の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する。(23.2/29.4)</p> <p>○付加された条件の下で、新たな事柄を見出し、説明することに課題がある。</p> <p>4(2) $DA:DC=1:2$のときの$\triangle DEC$がどのような三角形になるか説明する。(21.6/37.3)</p>	<p>【関数】</p> <p>○加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することに課題がある。</p> <p>2(2) $x=4$のとき$y=9$になるように、xとyの間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する。(13.5/20.6)</p> <p>○グラフの傾きを事象に即して解釈することに課題がある。</p> <p>3(2) B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ。(30.3/29.8)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>3(3) A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する。(21.1/30.3)</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。</p> <p>5(1) 24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切でない理由を、グラフの特徴を基に説明する。(37.3/47.6)</p> <p>○与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することに課題がある。</p> <p>5(2) 25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く。(12.4/31.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	56.5	56.0		0.5
数学の勉強は大切だと思いますか	72.7	80.5	◇	7.8
数学の授業の内容はよくわかりますか	63.3	69.4	◇	6.1
数学の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	69.1	72.1		3.0
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	62.8	69.8	◇	7.0
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	59.7	81.1	○	21.4

分析した内容

○数量関係を文字式に表すことや、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

○全国に比べて、最後まで諦めずに書こうとすることに課題がある。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○午後11時までに就寝している割合は、全国を下回っている。	○普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか 「午後11時より前」 <18.9 / 36.9 >
	○普段、1日当たり2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしている割合は、全国を上回っている。	○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く） 「2時間以上」 <64.4 / 48.7 >
	○普段、1日当たり2時間以上ゲームをしたり、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしたりする割合は、全国を上回っている。	○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 「2時間以上」 <52.9 / 34.9 >
	○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある割合は全国を下回っている。	○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く） 「2時間以上」 <49.2 / 30.1 >
	○地域社会などでボランティア活動に参加したことがある割合は全国を下回っている。	○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか <49.7 / 65.8 > ○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか 「参加したことがある」 <58.1 / 70.2 >

本校の取組み

◎これまでの取組

スクールエンパワメント加配を活用して4年となり、その間、5つの重点課題(①基礎学力の向上 ②家庭学習の定着 ③学力調査の分析による三中の課題 ④教師間における課題の共有 ⑤各教科の目標標準拠評価についての研究)を設け、校内研修の充実(研究授業も含む)を図ってきた。

一昨年度よりメロディーチャイムを導入し、チャイム着席等の授業規律の徹底において顕著な成果が得られている。また、これまでの様々な取組を踏まえて、三中のめざす授業づくりを『授業 三中スタイル』に集約し共通理解に努めている。

学力向上委員会を核にして各分掌と連携しながら、毎年、各学期に行う教職員や生徒を対象にしたアンケートや全国学力学習状況調査及びチャレンジテストの結果を分析し、実態把握と課題の明確化及び、その改善に取り組んできた。

自ら学び取る生徒を育てる授業づくり 『授業 三中スタイル』

1. めあてを板書し、生徒の動機づけをする授業
2. いきいき活動する場面がある授業(個人作業やペアワークなど)
3. 考える場面がある授業
4. 静かに自分を振り返る、振り返り活動がある授業
5. ユニバーサルデザインの視点による授業設計

○『授業 三中スタイル』における授業改善の重点取組

- ① 「めあて」に対応した「振り返り」
- ② 生徒がアクティブに学習する場面(考える・書く・発表する・話し合う・ペアやグループ活動)を充実させる
- ③ 書く力の育成

○授業規律に関して、生徒指導部と連携

- ・「授業の受け方・大切にしたい9つのこと」及び授業規律重点3項目と教職員間の申し合わせ事項の周知徹底を図っている。

○冊子「平成27年度 目標標準拠評価規準の9教科一覧及び、家庭学習の手引き」の作成、及び配付

- ・評価の仕方や評価方法を生徒や保護者に周知し、家庭学習について、特に復習の仕方等について説明を行っている。

○少人数習熟度別指導

- ・加配教員を活用し、2年生の英語科と数学科、3年生の英語科で少人数習熟度別指導を行っている。

○放課後学習：学習支援の実施

- ・市のまなびんぐサポート事業を活用し、週2回、3年生の希望者に対して英語科と数学科の自学自習のサポートを行っている。
- ・定期テスト前には、放課後学習会を開催している。
- ・長期休業中に、補充学習に取り組んでいる。

○家庭学習の定着：「家庭での宿題、復習などの自学自習」のシステム化

- ・全学年で「中学生の生活・学習ノート」を使って、朝学習とリンクさせて、自学自習に取り組んでいる。
- ・全学年で定期テスト1週間前には『家庭学習ばっちりウィーク』に取り組み、三中校区の小学校とも連携している。

○通信の発行

- ・生徒向けに、通信「風がふく」を発行し、授業の受け方や勉強の仕方などの学習面や家庭学習等の意識づけを行っている。
- ・教職員向けに、通信「エンパワメントニュース」を発行し、取組の紹介やアンケート、学力調査の結果分析、校内研修のまとめ等を掲載して共通理解を図っている。

○生徒会や各種委員会との連携

- ・文化委員会と学級の副委員長が連携し、全校一斉漢字小テストを実施している。
- ・文化委員会が図書室の整備と読書活動推進の啓発を行っている。

○校内研修 6月 カだめしテストの結果分析とその課題

授業づくり【教師対象及び生徒対象アンケート結果分析】

7月 授業の見直し・困り事アンケート結果周知

8月 「アクティブ・ラーニングとは」（講師招聘）

◎これからの取組

○『授業 三中スタイル』における授業改善の重点取組の推進

- 校内授業研究の実施
- | | |
|-----|---------------|
| 11月 | 公開授業と協議（講師招聘） |
| 2月 | 研究授業と協議（講師招聘） |

○授業における三中スタイルの実践状況を交流し、共有する

○教職員対象授業アンケート及び生徒対象学習アンケートの実施と分析結果の活用

12月 2学期の各種アンケート実施と結果分析

3月 3学期の各種アンケート実施と結果分析

○少人数習熟度別指導について、生徒対象アンケートを2回（11月、2月）実施し検証する

○平成28年度全国学力・学習状況調査、及び1年・2年チャレンジテストの結果分析の活用

11月 全国学力・学習状況調査の結果分析の共有と授業改善

3月 1年・2年チャレンジテストの結果分析と共有と授業改善

また、生徒にも結果の一部を紹介し、学習や家庭生活の在り方について方向性を示す

○家庭学習の定着の課題に対して

- ・「中学生の生活・学習ノート」を使った自学自習の取組を活性化させる。
- ・通信「風がふく」などを使って、家庭学習の大切さを生徒や保護者に対して啓発する。